



福島県では、車の通行が不能となっている県道会津若松三島線、県道小林会津宮下停車場線（会津銀山街道の銀山峠、美女峠、吉尾峠）を歩く県道として、整備・利活用し、地域の活性化につなげるための取り組みを地域の皆様や市町村と協働で行ってまいりました。合わせて福島県立川口高等学校（コミュニティスクール事業）との連携がはじまって3年。街道整備の環境教育やチームビルディングとしての効果がでてきました。また、歴史街道の魅力を引き出すため、整備時に峠の茶屋体験やハンモック体験を盛り込み、峠道の楽しみ方を模索しています。

### 歩く県道と環境教育



- 1: 整備した高姫清水の前で集合写真。清々しい笑顔から達成感が伝わってきます。
- 2: 丸太を運ぶ川口高校の生徒。丸太の中心を担ぐのがコツ。
- 3: カスガイ（コの字の金物）を打ち込む様子。両端をリズムよく叩きます。
- 4: 作ったベンチに座って喜びを分かち合う川口高校の生徒。

今後も連携を継続し、地域の自然や歴史、文化を楽しみながらともに学んでいきたいと思えます。

### 3年目の川口高校との連携

福島県立川口高等学校との連携は、今年で3年目になります。今回整備した美女峠の高姫清水工区は、令和3年度に一昨年度の先輩方が橋やベンチを設置した箇所です。地域の方から道幅が狭く、資材運搬車が通行しにくいいため、管理路を確保してほしいと要望をいただいていた。

令和5年7月6日に川口高校をはじめ、「銀山街道を活用して地域を元気にする会」などの総勢45名に参加いただき、管理路用の橋や周辺の排水対策などを行いました。川口高校の生徒からは、「楽しかった」「またやってみたい」「ふだん体験できない経験だった」などの感想をいただきました。みんなで初めてのことを「体験する・感じる・考える」という経験で、対話や主体性、柔軟な発想が育まれます。また、物を作り上げる達成感や非日常空間で過ごすことは、高校生活の思い出のひとつになると思います。



# 道普請前日に座学

川口高校2年生の皆さんに、街道の歴史や整備の方法について理解を深めていただくため、道普請作業の前にアドバイザーの田賀先生に講義をしていただきました。

会津銀山街道の概要や当日の施工方法などの他に、四国にある山間地の暮らしたや全国各地の道の事例を基に、道の成り立ちや里山の土地利用の合理性などを教わりました。また、一昨年度の先輩方の作業風景にも関心を寄せていました。

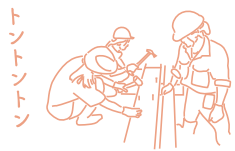


- 1: 橋(管理路)の整備前後。広い道になり、運搬車が通行できるようになります。
- 2: 橋は丸太を井桁に組み、上に板を敷く構造で、とても堅牢。
- 3: 清水をより親しめるようにと、デッキの脇にベンチをつくりました。
- 4: 高姫清水周辺の排水対策の様子。素掘り側溝と水切り工を設置しました。
- 5: 粗朶柵工の施工後の様子。雪で押されてしまった杭を打ち直しました。

川口高校の生徒は、周辺の排水対策を担当し、素掘り側溝や水切り工、丸太土留め工の設置作業を行いました。その他に、清水脇のベンチの設置や一昨年度につくった粗朶柵工のメンテナンス作業など、様々な作業を体験出来た一日になりました。

高姫清水区での作業は、管理路用の橋と周辺の排水対策の二手に分かれ、全体をアドバイザーの田賀先生に監修していただきました。管理路用の橋は、主に一般参加者が担当し、老朽化した橋の解体から始め、丸太の組み上げと板敷き作業をしました。基礎部分の設置に時間を要し、一部板敷きが残ってしまいました。今後作業を継続し、完成させる予定です。

## 高姫清水で様々な工法を体験



## 会津銀山街道の魅力 「美女峠 ハンモック体験」

「楽しみながら自然に触れ合ってほしい」と語るのは、「銀山街道を活用して地域を元気にする会」の菅家壽一さん。ハンモックを持参し、休憩時や作業の順番待ちの時間を有意義にして下さいました。川口高校の生徒からは「気持ちいい」「このまま眠りたい」などの感想をいただきました。このように楽しめる仕掛けづくりを地域の方々が工夫して実践されています。



### ご意見・お問い合わせ

福島県会津若松建設事務所企画調査課  
MAIL: wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp  
TEL: 0242-29-5455 / FAX: 0242-29-5459

